

柏の葉アーバンデザインセンター UDCK



UDCK

Urban Design Center Kashiwa no-ha

柏の葉
アーバン
デザイン
センター

PLS

Public Life Space

小さな公共空間

PLS

活用提案募集中!!

2010/4/14

UDCK副センター長 三牧浩也

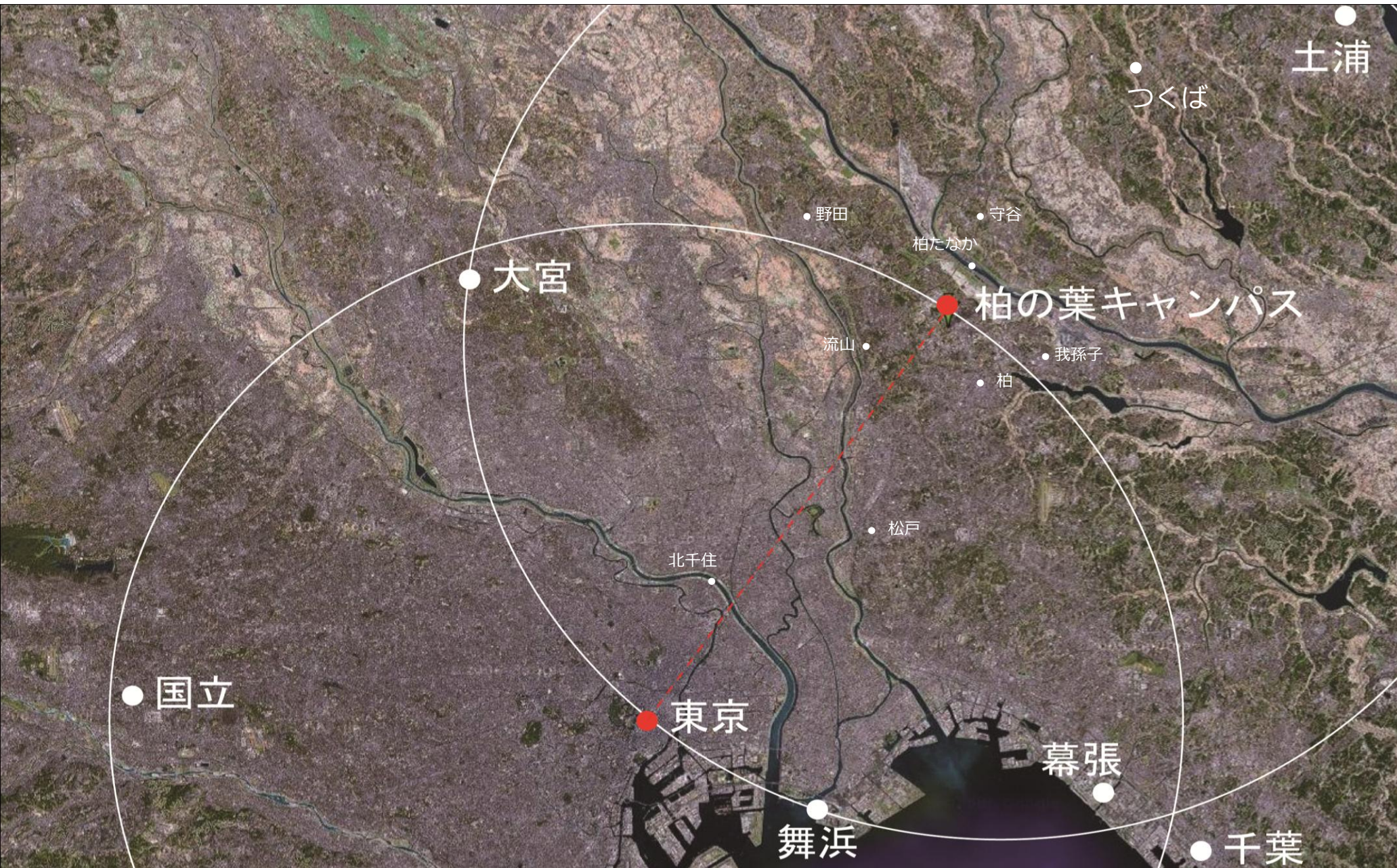


柏の葉

東京から30km

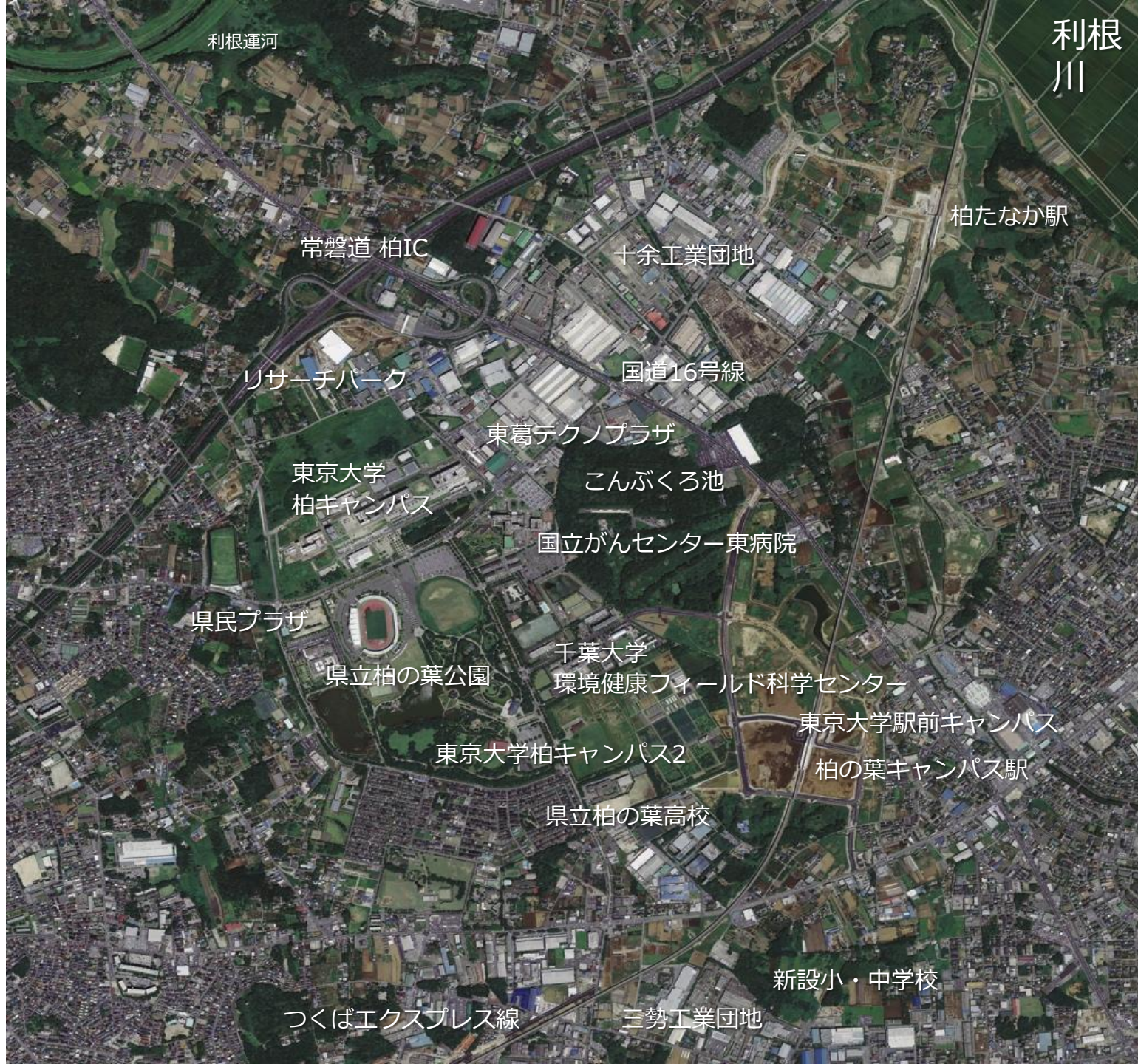
首都圏における中核都市である柏市の北部に位置している

つくばエクスプレスで秋葉原から30分 つくばとの間に位置する



機能集積

- 教育 | 県立柏の葉高校
新設小中学校
- 研究 | 東京大学
千葉大学
- 支援 | 東葛テクノプラザ
東大柏ベンチャー
プラザ
- 機関 | 国立がんセンター
科学警察研究所
関税分析研究所
税関研修所
国交省研修所
- 生産 | 十余二工業団地
三勢工業団地
- 自然 | 県立柏の葉公園
こんぶくろ池
- 農 | 大青田、小青田
船戸、大室など

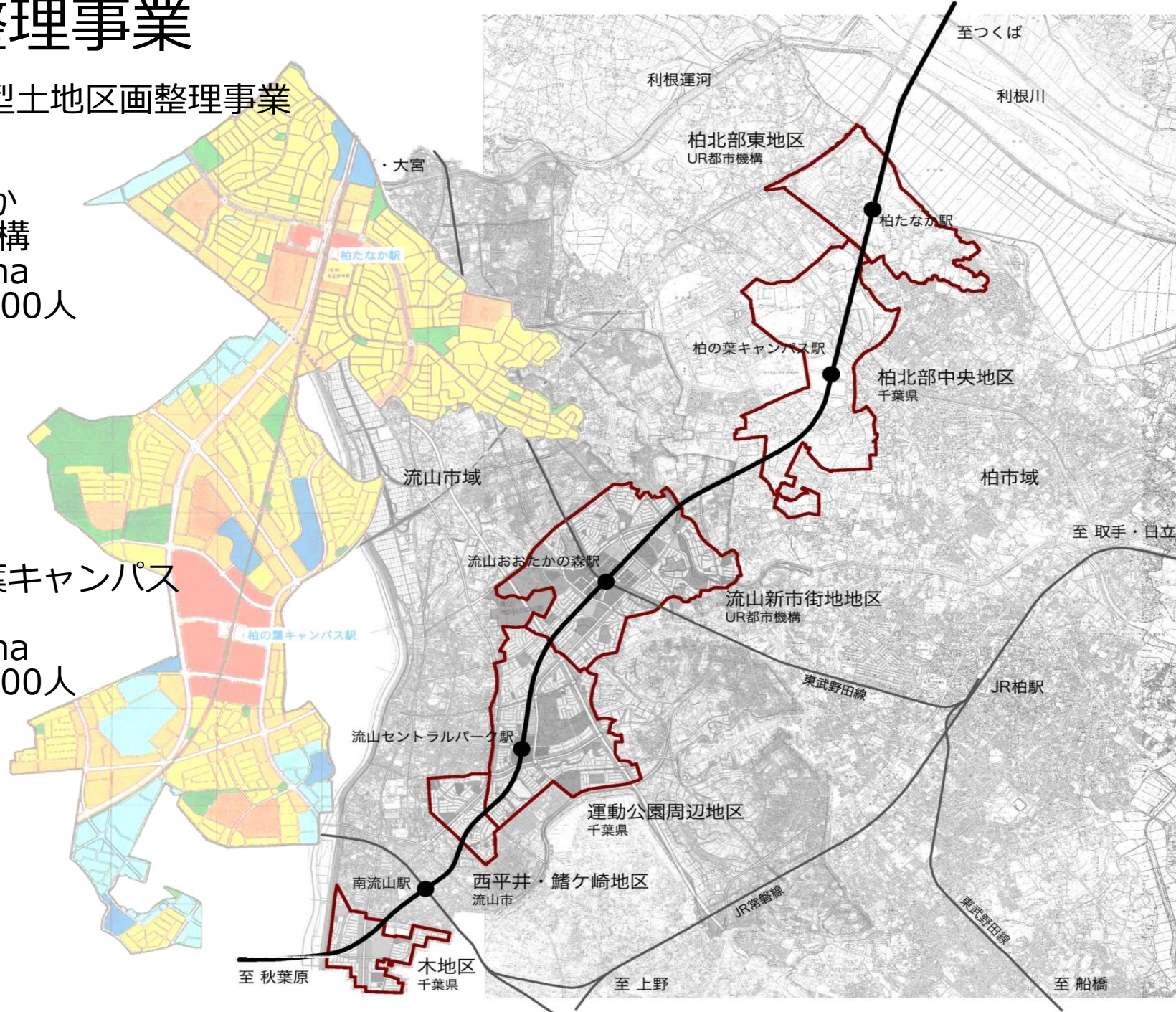


土地区画整理事業

鉄道整備との一体型土地区画整理事業

柏北部東地区 | 柏たなか
施行者 | UR都市機構
区域面積 | 約 170ha
計画人口 | 約 17,000人

柏北部中央地区 | 柏の葉キャンパス
施行者 | 千葉県
区域面積 | 約 273ha
計画人口 | 約 26,000人





常磐自動車道 柏IC

東京大学

十余三工業団地

県立柏の葉公園

政府系研究所

こんぶくろ池公園整備中

柏の葉高校

千葉大学

駅直近街区工事中

UDCK

つくばエクスプレス

国道16号

柏の葉キャンパス駅周辺

柏北部地区のまちづくりの経過

1985年7月 運輸政策審議会において常磐新線の整備を答申

1999年3月 土地区画整理事業都市計画決定

1999年 東京大学柏キャンパス稼働（物性研究所および宇宙線研究所）

2000年 土地区画整理事業開始

2005年8月 つくばエクスプレス（TX）開通

2006年4月 東京大学新領域創成科学研究科環境学系 柏キャンパスへ移動

10月 U D C K設立 11月 柏の葉キャンパス駅前にセンター開設

2008年3月 柏の葉国際キャンパスタウン構想策定

柏の葉アーバンデザインセンター

「公民学の連携」をコンセプトに2006年に設立

公

community

民

development

学

academy

構成団体 7

柏市
柏商工会議所
田中地域ふるさと協議会
Local government
Merchant Council
Groups of residents

三井不動産
首都圏新都市鉄道
Mitsui Estate Inc.
Tsukuba Express Inc.

東京大学
千葉大学
Univ. Tokyo
Chiba Univ.

協力団体 8

千葉県
柏市都市振興公社
都市環境研究所
UG都市建築
ワコール・アートセンター
プラップジャパン（広報）
NPO支援センターちば
ジャパンライフデザインシ
ステムズ（イベント）



STAFF

創設者 | 北 沢 猛 (東京大学教授 前センター長)

センター長 | 大和 裕幸 (東京大学教授)

副センター長 | 栗 生 明 (千葉大学教授・建築家)
猿 渡 久 人 (柏市企画部長)
上 野 武 (千葉大学教授・建築家)
清 家 剛 (東京大学教授 センター長代理)
三 牧 浩 也 (東京大学非常勤講師・UDCK専任)

ディレクター | 鈴木弘樹 (千葉大学担当)
日 高 仁 (東京大学担当)
田口博之 (建築都市設計担当 | 柏市都市振興公社)
宮奈由貴子 (市民活動担当 | NPO支援センターちば)
小林正史 (広報担当 | プラップ ジャパン)

フェロー | 地域政策、交通、環境などの専門家

柏の葉国際キャンパスタウン構想

Kashiwa-no-ha International Campus Town Initiative since 2006

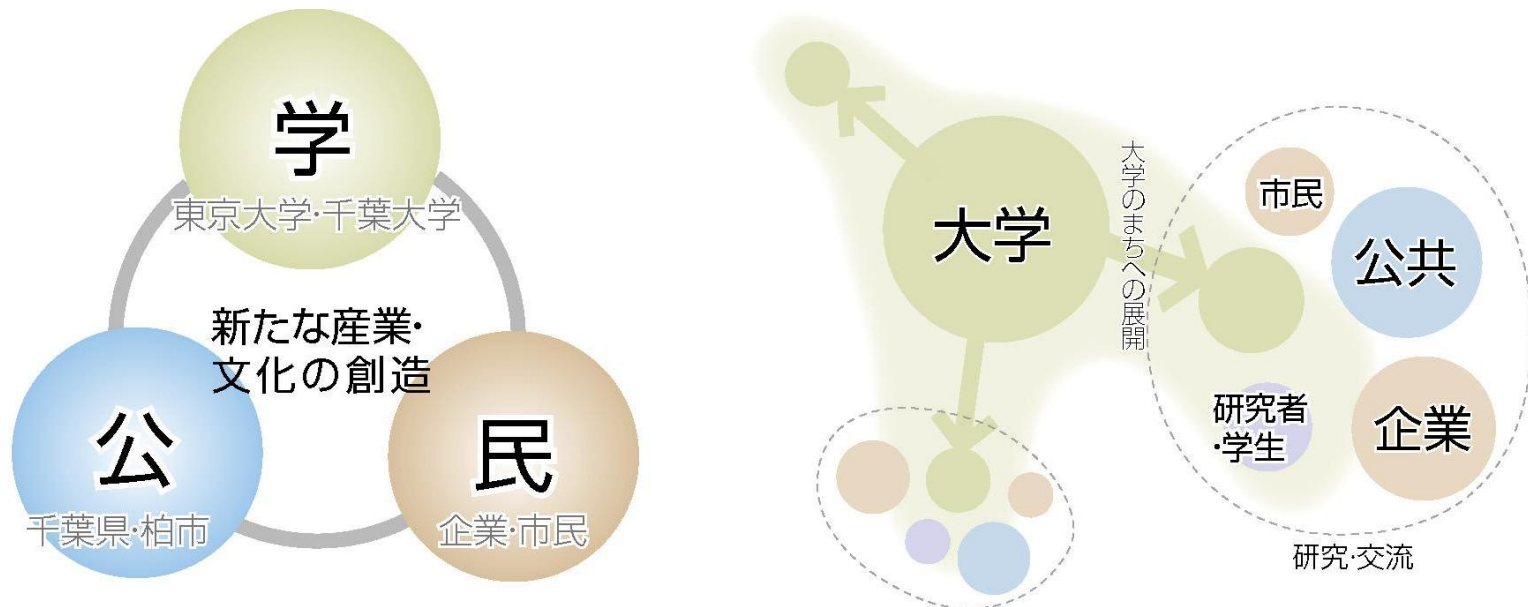
Chiba Pref., Kashiwa City, Chiba Univ, Univ. of Tokyo

千葉県、柏市、千葉大学、東京大学 2008年3月策定

大学と街の融合 キャンパスのような街

Gown & Town

Interaction of Universities and Communities

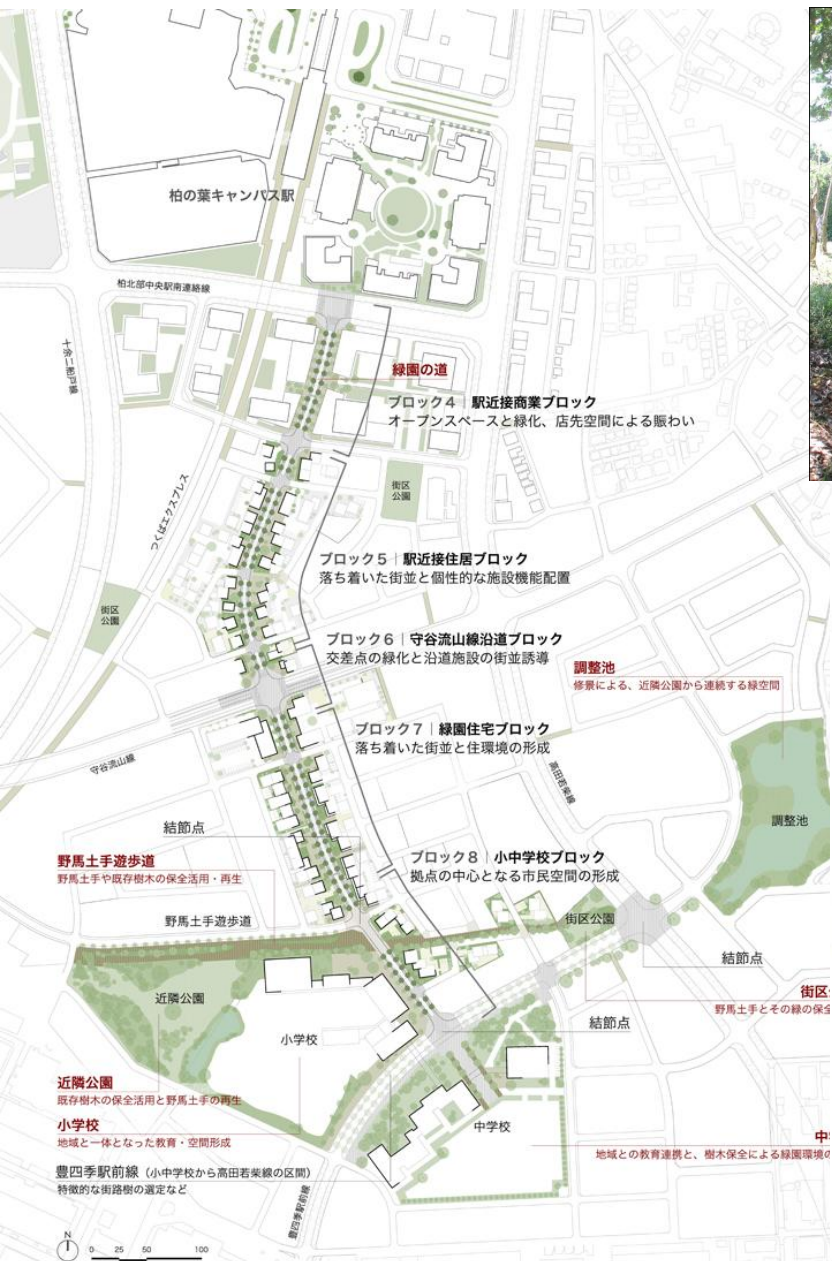


目標 1	環境と共生する田園都市づくり 脱炭素社会モデルとなる緑地保全や持続型開発による『環境空間』と市民や企業の『環境行動』を誘発する
目標 2	創造的な産業空間と文化空間の醸成 TX沿線の知の集合を生かし、高度な新産業の育成と創造産業の集積を図る
目標 3	国際的な学術空間と教育空間の形成 世界をリードする研究機能と地域に開かれた学術空間が街に展開する新たな国際学術都市のスタイルを確立する
目標 4	サステナブルな移動交通システム 自転車や公共交通を中心に地球と人に優しい移動環境を整備する次世代交通の総合的な実験成果を展開する
目標 5	キャンパスリンクによる柏の葉スタイルの創出 環境に優しく健康に暮らす柏の葉スタイル、また豊かな交流や文化芸術を創造する
目標 6	エリアマネジメントの実施 安全で快適な環境と地域の価値を維持し向上させる地域経営組織を公民学連携で設立する
目標 7	質の高い都市空間のデザイン 先進の環境空間計画とデザインマネジメントにより都市と生活の質を高める “いい街がいい人(研究者、生活者)を呼ぶ”
目標 8	イノベーション・フィールド都市 世界の最先端の技術や文化が展開する都市としてスパイラルアップする

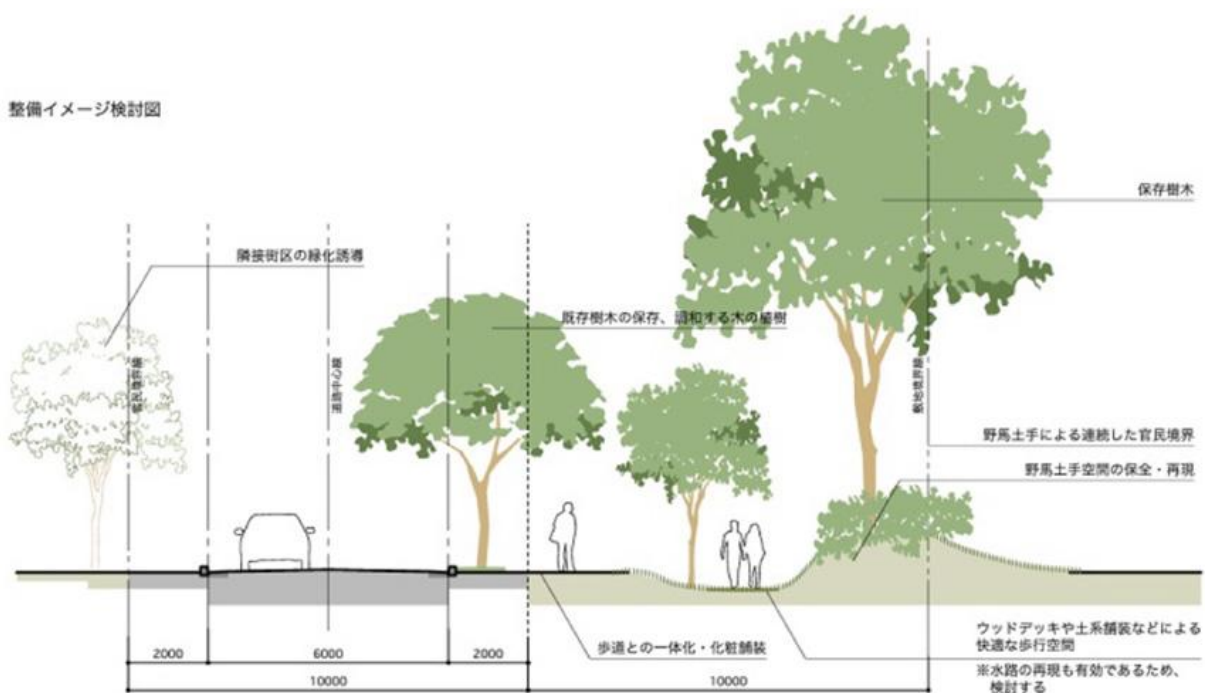


方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 「緑地ネットワーク」を保全し強化する 緑被率40%を維持 2 持続性の高い開発や建築の『柏モデル』を普及する 街区の緑化率25%,CO2削減35%を達成 3 市民生活を環境共生型に改める
方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 TX沿線の広域連携により世界水準の「100産業創出」と「10企業誘致」を進める 2 つくばと秋葉原の集積を結ぶ「TX-ナレッジ・ネットワーク」を構築する 3 既存産業の高次化、環境改善と競争力の強化を図る
方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 世界をリードする研究や教育の機能を強化する 「10の研究や教育の機関」を誘致 2 外国人の研究者や学生が暮らしやすい居住環境を整える 「1000人の外国人研究者・学生等の活動」を支援 3 柏の葉から世界の最先端で活躍する人材を育成する 4 地域と大学や研究機関との連携により独自の文化や空間をつくる
方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 世界の環境交通モデルとなる移動のシステムを整える 2 歩行者と自転車の楽しい移動を可能とするネットワークをつくる 「自転車分担率の10%増加」 3 自動車利用を減らすため総合的な施策を展開する 「自動車分担率の10%低下」
方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康で快適な生活空間と環境行動の「柏の葉スタイル」を定着させる 2 多様な住み方、暮らし方ができる住宅を供給する 「キャンパスリンク住宅を10%」 3 農や食の文化を育む空間と生活を充実させる
方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境・健康行動を普及し質を高めるマネジメントを行う 2 安全や魅力を生み価値を高めるマネジメントを行う 3 公民学の連携で自立したマネジメントを行う
方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 キャンパスのように緑溢れる自由な都市空間をつくる 2 大学が街へ広がる学園の道(University Axis)をつくる 3 緑の中に多様な活動が見える緑園の道(Green Axis)をつくる 4 UDCKを中心にアーバンデザインを実現する 5 アーバンデザインを柏市域や沿線地域へ広める
方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 国際学術研究都市をアピールする 2 実証実験の支援と実現プログラムを提供する

公共施設の高質化、沿道建築のデザイン誘導



整備イメージ検討図



野馬土手遊歩道 検討図 scale 1:100

【遊歩道】

【小学校・公園など】

参加型設計調整 Design Review



自転車利用の促進：モビリティ・ラボ（柏市・三井不動産等）2008年11月、2009年5月11月

- ・共同自転車事業、ポイントシステムの導入、情報配信、自転車レーン整備等の走行空間の高質化、鉄道やバス、ベロタクシーなど他の交通機関との関係性の構築などについて、実証実験を行いながら、有効性の検証やニーズ把握を実施



農あるまちづくり



柏たなか周辺の風景づくりガイドライン

農地編

農の姿は地域の大切な風景です。そのため、農地の緑化や市民の利用を促進することで、農地の公益性を高めることが可能です。こうした農地の活用がもたらげるオープンスペースとして、住民が共有する空間となることを図ります。

風景づくりの作法

農地のデザイン
市街地に点在する農地に相応しいものとして、花木や果樹を植えたり、遊歩や農具陳列などの緑化を促進します。また、区画にはアツキやレンガ等を敷設するなど、農地の格感を弱めず。

付帯施設の設え
農地に付帯する「物置」や「ピシルハウス」など、必要不可欠な施設は、周辺環境を損なわない様に配置する。とともに、資材やつくり、緑化などにより、景観に配慮したものを図ります。

景観の風景
耕作や農具陳列などを通じて農地の維持し、農家と住民が一緒に守る身近なオープンスペースとして、農ある風景をつくっていきます。

農地の風景
農地の緑化や市民の利用を促進することで、農地の公益性を高めることが可能です。こうした農地の活用がもたらげるオープンスペースとして、住民が共有する空間となることを図ります。

農地のデザイン
市街地に点在する農地に相応しいものとして、花木や果樹を植えたり、遊歩や農具陳列などの緑化を促進します。また、区画にはアツキやレンガ等を敷設するなど、農地の格感を弱めず。

付帯施設の設え
農地に付帯する「物置」や「ピシルハウス」など、必要不可欠な施設は、周辺環境を損なわない様に配置する。とともに、資材やつくり、緑化などにより、景観に配慮したものを図ります。

まちづくりスクール（柏市都市振興公社）

- ・まちづくりを推進していく際に有効なツールとなるワークショップの進め方やアーバンデザイン、市民参加によるまちづくり等を実践的に学ぶことができる市民講座
- ・計4～6回の講座からなるプログラムで、基礎講義やワークショップが行われる
- ・柏市都市振興公社が主催



UDCK まちづくりスクール 秋コース受講生募集!!

まちを市民が デザインする

30名の受講生を
募集しています!

柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）は、市民が自らの手でまちをデザインしていくために必要となるスキルやノウハウを学ぶ市民講座、「UDCK まちづくりスクール」を開講します。秋コースでは、新たにさまざまな分野の専門家、実務家を講師に招き、市民とまちづくりの関係、都市のコミュニケーションデザインについて学びます。レクチャーのほかに見学会や、体験ワークショップなども含める予定です。デザイン、市民参加、植栽、自然環境、地域コミュニケーション、ネットワーク形成などに関心のある方は、ぜひお申し込みください。大学生、行政職員、市民、企業の方など、幅広い分野からの参加を期待しています。

01

11月4日（水曜）19:00-20:30

「シビックプライドと都市のコミュニケーションデザイン」
講師：伊藤香織氏（東京理科大学准教授）

02

11月18日（水曜）19:00-20:30

「環境健康都市宣言・柏の葉のまちづくり」
講師：栗生明氏（千葉大学教授）

03

12月2日（水曜）19:00-20:30

「デザインワークショップⅠ」
講師：栗原国男氏（ランドスケープアーキテクト）

04

12月16日（水曜）19:00-20:30

「デザインワークショップⅡ」
講師：栗原国男氏（ランドスケープアーキテクト）

05

12月23日（祝日）13:30-15:00

「移動とは何か？まちづくりの視点から考える」
講師：羽藤英二氏（東京大学准教授）
修了式：修了証の授与

お申し込み方法

受講料：3000円

申込先：電話 04-7140-9686 メール school@udck.jp（お名前、ご住所、所属先をお知らせください）

問い合わせ先：柏の葉アーバンデザインセンター【UDCK】 <http://www.udck.jp/>

〒277-8518 千葉県柏市若葉字元堂 178-3 柏の葉キャンパス駅前 148 街区 3 階地

TEL：04-7140-9686 FAX：04-7140-9688

（担当者：ディレクター 丹羽）

主催：財団法人柏市都市振興公社 共催：柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）



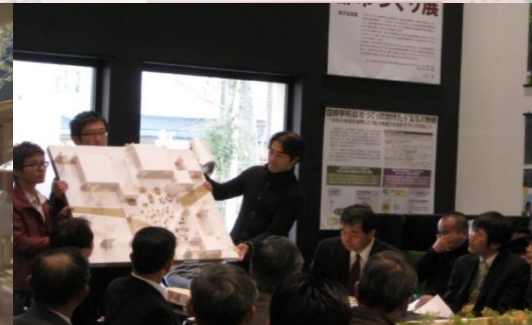
都市環境デザインスタジオ (東京大学 + 千葉大学 + 東京理科大学 + 筑波大学)



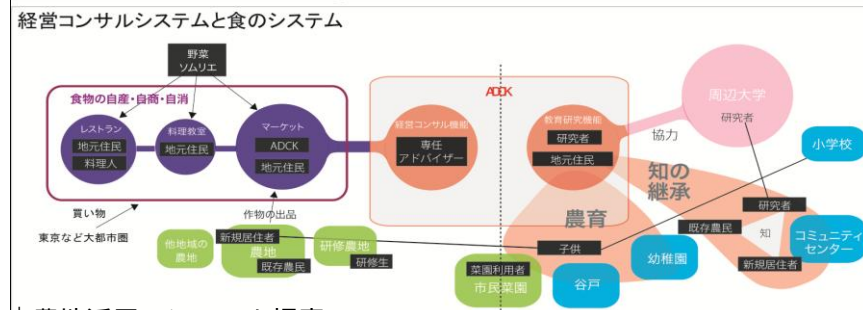
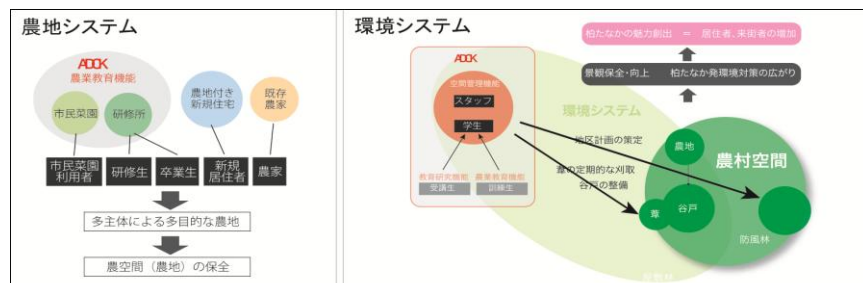
新しい公共空間の提案



2007年度の講義風景



2008年度の地元住民との意見公開の風景

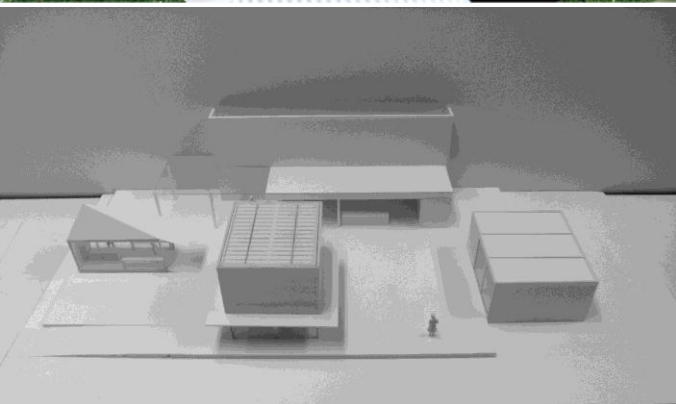


2008年度 | 農地活用のシステム提案

小さな公共空間 P L S (2007年度千葉県助成)

- ・PLS(Public Life Space)は柏の葉イノベーションデザイン研究機構(東京大学、三共フロンティア、三井不動産、柏商工会議所)がユニットハウスで試作した小さな公共空間
- ・インフォボックス(案内所)、ブックサービス(私設図書室)、プロジェクトハウス(アトリエ、ミニオフィス、ラボ、ギャラリー等)の3棟を設置
- ・2007年度千葉県の助成を受けて設置し、2008年以降、一般からの提案も受けながら年間を通じて様々な利用が展開されている

大学のスタジオでの提案、地域**企業**との連携で実験、**県**の助成、**市民**活動の場として利用



まちのクラブ活動

- ・地域コミュニティに気軽に参加できる、市民活動の契機として位置付け
- ・柏の葉地域における、新旧住民や就業者・学生など、多様な市民の活動ネットワーク(柏の葉シビックネットワーク)を広げることを視野に入れる
- ・現在18のクラブが活動 約600人が登録



- 柏の葉エコクラブ
- KFVはじめての、土いじり
- かしわ輪たく俱樂部
- もっとカメラクラブ
- ペタンククラブ
- マルシェクラブ
- 柏の葉はちみつクラブ
- まちの記者クラブ
- ピノキオクラブ
- We Love Today Pips
- 柏の葉ピクニッククラブ
- イトウセイホークラブ
- バンビクラブ
- クラブハウスのお手伝いクラブ
- 柏の葉自転車クラブ
- もっとセツヤクラブ
- 柏の葉ネイチャーキッズクラブ
- みんな一緒にリズムング♪クラブ

柏の葉キャンパスお花見ピクニック月間

マルシェコロール marché couleur

新鮮な野菜や魚。チーズ、ワイン、生ハムにパン。打ち立てパスタとオリジナルスナック。色とりどりのものが並ぶ市場＝マルシェコロールが今年のGW、柏の葉キャンパス駅前に登場します。食べてもおいしく、目にも楽しい食材や飲み物を扱うショップは全部で約20店舗。家族みんなでおなかをすかせてでかけましょう！

●開催日時 **2008年5月3日(土・祝)・4日(日) 11:00-17:00**
●場所 **UDCK (柏の葉アーバンデザインセンター)、柏の葉キャンパス駅西口ロータリー、千葉大学**



柏の葉キャンパス
お花見ピクニック月間
2008

主催: 柏の葉キャンパス お花見ピクニック月間
2008実行委員会(三井不動産株式会社、ら
らばーと柏の葉、三井不動産レジデンシャル株
式会社、NPO支援センターららば、柏の葉アー
バンデザインセンター(UDCK)、株式会社純
邦広告社、スパイラル/株式会社ワコールア
ートセンター)
後援: 柏市、柏市教育委員会
協力: 千葉大学、千葉県立柏の葉公園(財団
法人千葉橋まちづくり公社)、さわやかばっ
ぱら、柏商工会議所、柏市国際交流協
会、千葉銀行、首都圏新都市鉄道株式会
社、デロンギジャパン株式会社、ラッキーアイレ
マックス株式会社、J.COM、柏の葉キャンパスフェ
スタ実行委員会、柏の葉八重桜並木設置協
議会、大学コンソーシアム柏 健康づくり分科会
参加アーティストユニット: EAT&ART TARO、
井上信太、柏の葉ピクニッククラブ、木村宗人、
小山田暁、ジャンリニク・ヴァルムート、高橋
信雄、東京ピクニッククラブ
●問合せ
柏の葉キャンパス お花見ピクニック月間2008
実行委員会
090-1733-0712 (10:00-18:00)
info@kashipic.com

ART GOES PUBLIC
A B C
マルシェコロールは、柏の葉キャンパス駅
周辺にて行われるアートプロジェクト「AGP
(Art Goes Public)」の一環イベントです。
<http://www.artgoespublic.jp/>
(4月29日オープン)
ENERGY GREEN

ゴールデンウィークに 色とりどりの市場が出現。



① 構想 + 実行

国際キャンパスタウン構想 + フォローアップ

② 情報発信

各種フォーラム、展示、出版、プレスリリース、HP

③ 研究

都市スタジオ、UDC研究、カレッジリンク市民科学

④ 実証実験

PLS、モビリティ・ラボ、地域ICTユビキタス、ITS

⑤ 住民支援

まちづくりスクール、まちのクラブ活動、ピノキオプロジェクト

⑥ 建築相談 + 計画監理

区画整理二次デザイン、景観地区と柏CASBEEの事前協議、UD会議フォロー

⑦ 企業交流

起業支援 + 企業誘致、東葛テクノプラザ、FDC

